

# ケースで考える債権法改正

森田宏樹 監修

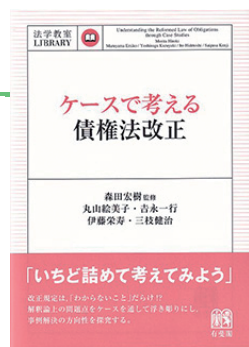
丸山絵美子 = 吉永一行 = 伊藤栄寿 = 三枝健治 著

2022年2月発売 / 402頁 / 定価 3740円(税込)

A5判 / 並製



詳細を見る



編集  
担当者  
から

いわゆる債権法改正は、2020（令和2）年4月1日から施行されました。大学の講義や定期試験はもちろん、司法試験なども新法で出題がなされます。教科書や判例集も改正に対応した改訂が順次され、みなさんも新法の理解を進めているかと思います。

本書は、「法学教室」に掲載された同名連載を加筆などしてまとめたものです。改正規定をケースに当てはめようとする疑問が生じる・解法に困る場面があるから、一度しっかり考えてみようという趣旨で始めた連載。検討会合でも、先生方が悩む姿を幾度と見ました。旧法下での判例法理や解釈論を規定に反映し、国民にわかりやすい内容にすることも目的にされた改正なので、講義や教科書などでもすっきり解説されることがあり、「わかった」と感じることも多いと思います。でも、ケースで実際に規定を使うとなると…。

すんなり理解できたと思ったときこそ、一旦立ち止まり、本書でケースに当てはめて考えてみてください。理解の綻びや穴に気づくことができると思います。（鈴木）

Index



主要な改正点を取り上げ、ケースを素材に深く、丁寧に解説します。

- |                           |                                     |
|---------------------------|-------------------------------------|
| 第1講 錯誤                    | 第14講 相殺                             |
| 第2講 代理                    | 第15講 定型約款                           |
| 第3講 無効・取消しの効果             | 第16講 特定物売買と危険負担                     |
| 第4講 消滅時効・時効障害             | 第17講 売買の解除                          |
| 第5講 受領遅滞                  | 第18講 売買目的物に契約不適合がある<br>場合の代金減額請求権   |
| 第6講 債務不履行による損害賠償の帰<br>責事由 | 第19講 種類債権の「特定」                      |
| 第7講 詐害行為取消権の要件            | 第20講 賃貸不動産の譲渡に伴う賃貸人<br>の地位の移転と地位の留保 |
| 第8講 詐害行為取消権の効果            | 第21講 賃借人の賃借物返還義務・原状<br>回復義務・収去義務    |
| 第9講 連帯債務                  | 第22講 請負における報酬債権                     |
| 第10講 保証                   | 第23講 請負における契約不適合責任                  |
| 第11講 債権譲渡制限特約             | 第24講 寄託                             |
| 第12講 債務引受                 |                                     |
| 第13講 弁済による代位              |                                     |